

平成26年 署・業種別死亡災害発生状況

広島労働局

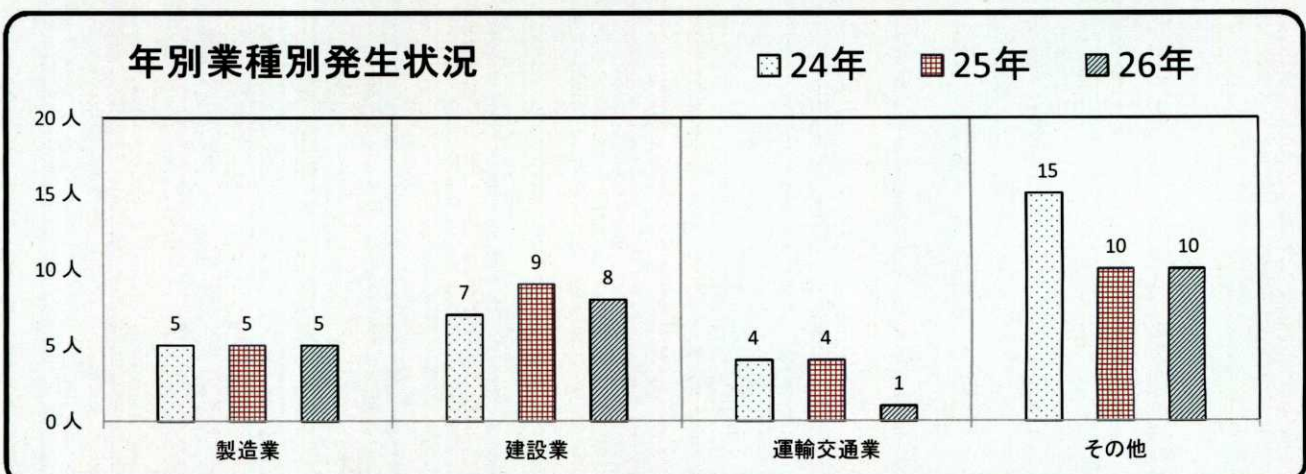
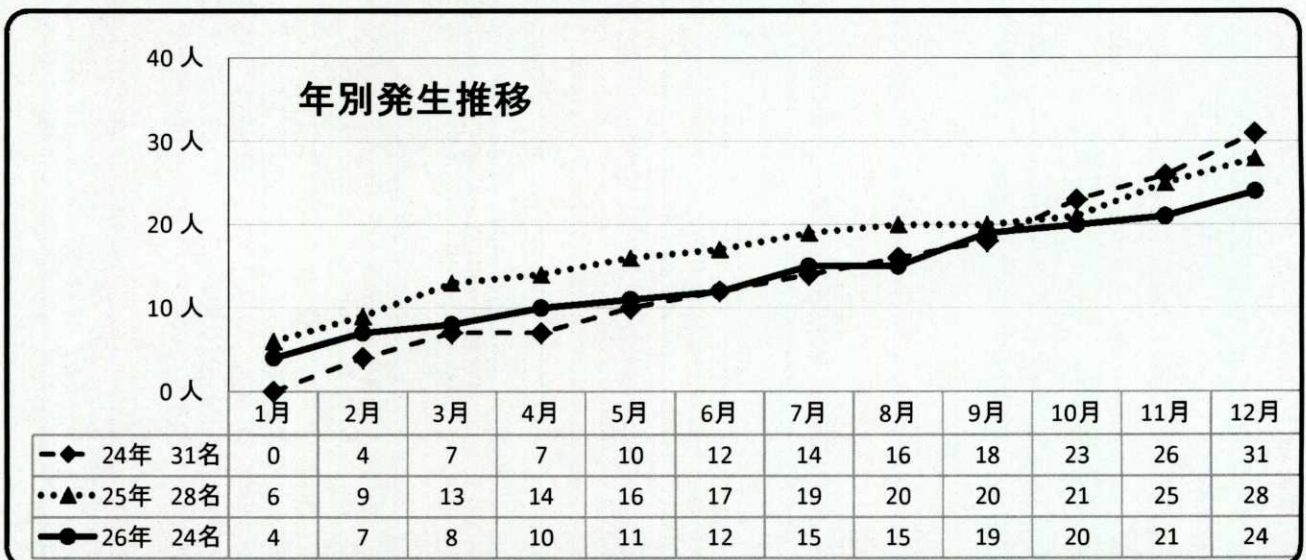
署 別	平成25年		平成26年					増減	業 種	平成25年	平成26年	増減率	
	年 間	5月31日	全産業	製造業	建設業	運輸交通業	その他					%	
広島中央	5	5	7 (1)		2 (1)		5	2	全 産 業	28 (4)	24 (4)	-14%	
呉	6 (1)	6 (1)	3 (1)	1			2 (1)	-3	製 造 業	5	5		
福 山			6 (2)	1	2	1 (1)	2 (1)	6	建 設 業	9	8 (1)	-11%	
三 原	5	5	2		2			-3	運輸交通業	4 (1)	1 (1)	-75%	
尾 道	4 (1)	4	1	1				-3	そ の 他	10 (3)	10 (2)		
三 次	2 (1)	2 (1)	3	1	1		1	1	内 訳	農 林 業	1		-100%
広島北	4 (2)	4 (2)	1	1				-3		商 業	2	2	
廿日市	2	2	1		1			-1		清 掃	1	3	200%
合 計	28 (5)	28 (4)	24 (4)	5	8 (1)	1 (1)	10 (2)	-4		その他	6 (3)	5 (2)	-17%

(注1) ()は交通事故で内数。

(注2)業務上外、労働者性等調査中のものを含む。

最終発生日 平成26年12月25日

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
全 産 業	53	72	53	41	31	33	70	47	39	35	41	19	31	30	31	28
製 造 業	12	13	10	7	8	10	17	9	11	6	19	5	10	6	5	5
建 設 業	20	18	21	18	11	7	23	13	6	12	7	4	7	8	7	9
運輸交通業	10	15	8	7	5	6	16	9	12	8	4	2	4	10	4	4



平成26年 死亡災害発生状況

広島労働局

No.	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職 種	経験 (年数)	事故の型	起因物	災害発生状況
1	1月	製造業	男	70 代	作業員・技能者	4	転倒	作業床、歩み板	鉄骨への番線取付けの作業を行っていた被災者が作業中に頭部を打撲し、脳挫傷等により3日後に死亡したもの。
2	1月	清掃・と畜業	男	30 代	設備担当	3	墜落、転落	建築物、構築物	ビル管理会社に勤める被災者が設備の巡回のため、ビル屋上で設備の巡回を行っていたところ、ビル屋上から地上に墜落したもの
3	1月	運輸交通業	男	30 代	貨物自動車運転者	21	交通事故(道路)	トラック	高速道路下り線の緩やかな左カーブで、前方の大型トラックに被災者が運転するトラックが追突した。
4	1月	建設業	男	40 代	管理者	4	激突され	トラック	国道道路補修工事現場にて、被災者は道路上でアスファルト切削後の路面の厚みを写真撮影する準備を行っていたところ、切削後に搬出するアスファルト切削片を積み込むため後進してきたダンプトラックにひかれたもの。
5	2月	畜産・水産業	男	60 代	作業員・技能者	2	おぼれ	その他の乗物	被災者は、午前8時にカキ筏監視船に乗船し就航。当日はカキ筏の標識灯の電池交換作業が予定されていた。午後6時過ぎ、被災者が乗船していた船のみが発見されたため、広島海上保安部に救難要請。午後7時10分、溺死している被災者を発見。被災者はライフジャケットを着装していた。
6	2月	製造業	男	60 代	作業員・技能者	26	墜落、転落	通路	造船所のドックサイドにおいて、ドック海側に設置された艀装棧橋に接岸した艀装船に移動するためドックゲート上の通路を走行中、なんらかの原因で転倒し、通路の手すりの間からドック底へ墜落した。(高さ4.4m)
7	2月	その他の事業	男	60 代	作業員・技能者	18	その他	その他の起因物	宿泊先で体調が急変し、病院に搬送されたが死亡した。
8	3月	建設業	男	10 代	作業員・技能者	9ヶ月	はさまれ、巻き込まれ	解体用機械	木造家屋の解体工事現場で、被災者が解体工の運転する車両系建設機械(解体用機械)の車体と排土板の間にはさまれ、死亡した。 被災者は散水用ホースで散水作業を行っていた。
9	4月	製造業	男	40 代	製造工	2	その他	起因物なし	工場内で作業中に歩行不能に陥り被災した。
10	4月	商業	男	40 代	管理者	22	その他	その他の起因物	広島市内のホテルにて、会社の総会に参加し、壇上でスピーチを行っていたところ倒れ死亡した。

平成26年 死亡災害発生状況

広島労働局

No.	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職 種	経験 (年数)	事故の型	起因物	災害発生状況
11	5月	鉱業	男	20 代	作業員・技能者	6	火災	ガス溶接装置	作業員2人で、碎石プラント施設の篩い分け装置の補修作業を行っていたところ、篩い分け装置内部のゴムシートが燃え出したため、消火するために篩い分け装置内部に入った被災者が逃げ遅れて焼死した。
12	6月	建設業	男	40 代	その他の運転者	1	墜落、転落	その他の一般動力機械	河川中流維持工事において、当日の作業が終了し、牧草ロール機を格納場所へ移動させるため、堤防天端道路から北斜面に降りようと機体を後進させて法面に垂直に進出したところ、機体が転倒し、約3メートル下のコンクリート敷面まで転落し、機体の下敷きになり死亡した。
13	7月	建設業	男	60 代	防水工	4	墜落、転落	作業床、歩み板	7階建てマンションの防水工事において、屋上床面に防水シートを重ね貼りするため、屋上床面の洗浄作業の準備を行っていたところ、床面の端から約19メートル下のアスファルト地面に墜落し、死亡した。
14	7月	製造業	男	50 代	作業員・技能者	6	墜落、転落	その他の装置、設備	コンクリートプラントの立ち上げ準備作業中、操作室等のあるフロアのベランダ（高さ約7m）から地上に墜落し、死亡した。
15	7月	建設業	男	10 代	解体工	2	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	会社所有のトラック（Wキャビン）に労働者4名が同乗して、建設現場に向かう途中、トンネルを出た後に雨でスリップし中央分離帯のガードレールに激突して横転、助手席の労働者が車外に投げ出され、死亡した。
16	9月	保健衛生業	男	30 代	営業所長	3	有害物等との接触	乗用車、バス、バイク	高速道路のサービスエリアで、被災者が停車した車の車内で意識を失った状態で発見され、病院に搬送されたが死亡が確認されたもの。
17	9月	清掃・と畜業	男	70 代	清掃員	2	墜落、転落	はしご等	店舗において、被災者が1階軒先の清掃作業を終えてアルミ製移動はしごを下りようとしたところ、はしごが滑り高さ約1.7メートルから地上に墜落し死亡した。
18	9月	建設業	男	60 代	大工	2	切れ、こすれ	丸のこ盤	リフォーム工事のため、木造2階建住居の1階床下に入り、大引き材を携帯用丸のこ盤を使用して切断していたところ、大引き材から撥ねた丸のこ盤が右大腿部に接触したため裂傷を負い、失血により死亡した。
19	9月	建設業	男	40 代	作業員	17	飛来、落下	玉掛用具	鉄製の機材（15トン）の両端を2台のクレーンで吊り上げ向きを変える作業をしていたところ、そのうち1台のクレーンのワイヤーロープと機材をつないでいたナイロン製のベルトが切れ機材が倒れ、下敷きとなった男性作業員1人が死亡した。
20	10月	建設業	男	60 代	作業員	50	転倒	混合機、粉碎機	被災者は、会社の敷地内にある倉庫前において、一人で竹チッパー（クローラ自走式の樹木粉碎機）を積載型トラッククレーンの荷台に積み込む作業を行っていたが、その後、停車した竹チッパーの後ろで倒れている被災者が発見された。 被災者は、病院に救急搬送されたが、翌日の午後4時頃に死亡した。

平成26年 死亡災害発生状況

広島労働局

No.	発生月	業種	性別	年齢(十歳代)	職 種	経験 (年数)	事故の型	起因物	災害発生状況
21	11月	製造業	男	30 代	製造工	20	はさまれ、巻き込まれ	ロール機（印刷ロール機	試運転中の連続塗装ライン内部に立ち入り、ローラー表面をウエスで拭き取っていた被災者は、誤ってローラーと加工材の隙間に接触、全身を巻き込まれ脳挫傷により死亡した。
22	12月	畜産・水産業	男	20 代	水産加工作業員	24	交通事故(その他)	その他の乗物	漁協所属の漁船で漁港を出港して間もなく、南下してきた砂利運搬船と衝突し転覆、漁船に乗船していた技能実習生と船長が死亡した。
23	12月	清掃・と畜業	男	70 代	警備員	15	転倒	起因物なし	警備契約された建物施設を巡回中、当該施設内の駐車場内にて突然倒れた。 なお、被災者は病院に搬送され6日後に脳挫傷により死亡した。
24	12月	商業	男	20 代	運転手	4	交通事故(道路)	トラック	複数の建設現場に建材を配送している途中の現場間を移動中に、トンネル内で前方に停止していたトラックに追突した。